



生産工程管理システム： 図面にバーコードラベルを貼り付け工程管理

お客様のご要望：

作業者にとって出来るだけ
簡単な操作で、工程管理をおこないたい



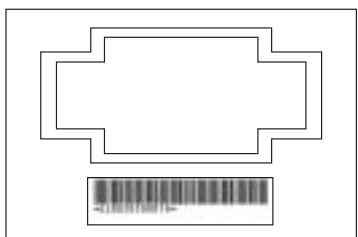
事務所の様子



工程管理システム



作業場のバーコードリーダー



使用例イメージ

(株)八王子様は、自動車、ねじ部品用の冷間加工用金型メーカー。金型製造の工程管理システムの中でバーコードラベルプリンターとしてピータッチを使用。

使用方法

まずは事務所で(株)八王子様の専用管理ソフトを使用して登録、そして図面をスキャニング。その後登録ボタンを押すとNo.が自動でアサインされピータッチからバーコードラベルが印刷される。このバーコードラベルを図面に貼り付け作業図面が完成。この作業図面を用いて工程管理をおこなっている。

作業場での操作

1. 作業開始前に各作業者がスキャナーで図面のバーコード、自分の名前のバーコード、作業内容のバーコードを読み開始ボタンを押す。
2. 作業終了後、図面のバーコードを読み終了ボタンを押す。

この工程管理システムにより各工程の作業者も工程ごとの納期が確認できるとともに前工程がどこまで進んでいるかが把握でき作業がスムーズに流れる。

プログラムは

(株)八王子様の工程に合わせて管理ソフトを開発。各物件の納期管理もばっちり。

その他の使い方

試作品にシリアルナンバーをつけたり、棚表示、ファイルの背表紙、機材への表示など、パソコンと接続してすぐラベル作成ができるので便利。

納入例

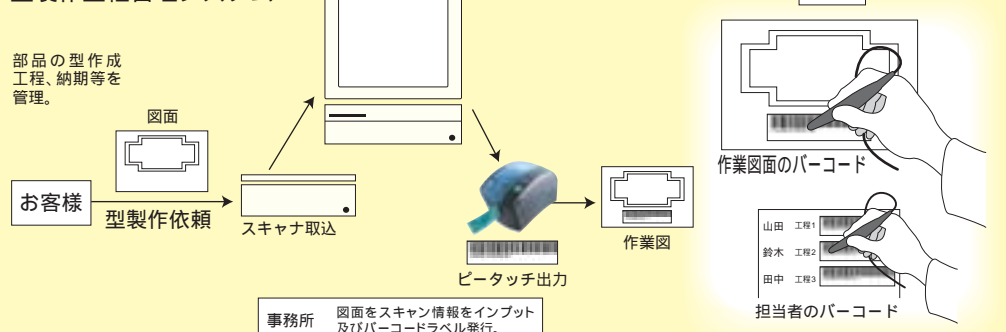
ピータッチ9300pc2台、12mm幅テープ(白地に黒文字)を使用。

b-PACを活用してオリジナルソフトを構築し使用。

このシステムの利点

(株)八王子 代表取締役社長 西川博様
作業者はバーコードを読むだけでよく、面倒な入力がないので作業に徹してもらえます。またパソコンを覚える必要もない。このシステムの導入によって作業の進行状況が簡単に把握でき業績効率がかなり上がった。さらに受注・原価管理もできるソフトなのでよい。

型製作工程管理システム



作業工程で作業開始前・終了後、それぞれにバーコードを読むことで、作業の進行状況が事務所で把握できる。